

令和6年度当初予算案 事業別概要

1	項 目 名	介護認定審査システム標準化対応業務
---	-------	-------------------

年 度	令和6年度
-----	-------

担当課	総務福祉課
-----	-------

会計名	一般会計
款	民生費
項	社会福祉費
目	介護認定審査費

事業の概要	【問合せ先】福祉審査係 0857-20-0294 【事業の経過及び背景】 国においては、地方行政のデジタル化を推進するため、令和3年9月1日に「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」を施行し、全国の自治体に対し基幹業務20業務のシステムを国が示す標準仕様に適合したシステム（標準準拠システム）へと移行することを求めている。 本組合においては、介護認定審査システムが標準化対象にあたるため、国が目標として定める令和7年度末までの標準準拠システムへの移行を進める必要がある。 【事業の目的及び効果】 自治体の情報システムを標準化することにより、住民の利便性の向上及び行政運営の効率化が期待されているところである。本システムにおいても、国の指定するクラウド利用により、災害等によるサーバ故障のリスク低減を図るとともに、様式の統一により、システムカスタマイズが不要となるなど審査会運営の安定化及び効率化を図る。 【事業の内容】 令和6年度 実施設計・システム構築・データ移行作業 〈債務負担行為/R6～R7〉 29,681千円 令和7年度 環境構築・設定作業・システム連携運用テスト 〈債務負担行為/R6～R7〉 44,521千円
-------	--

(単位：千円)

令和6年度予算額	29,681
令和5年度予算額	0

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	0
市町普通負担金	29,681
計	29,681

その他財源の内訳	
	0
	0
	0

2	項 目 名	環境クリーンセンター工場棟昇降機更新事業
---	-------	----------------------

年 度	令和6年度	担当課
		環境衛生課

会計名	一般会計 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">款</td> <td style="width: 15%;">衛生費</td> <td style="width: 80%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">項</td> <td>不燃物処理費</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">目</td> <td>環境クリーンセンター管理費</td> <td></td> </tr> </table>	款	衛生費		項	不燃物処理費		目	環境クリーンセンター管理費	
款	衛生費									
項	不燃物処理費									
目	環境クリーンセンター管理費									

(単位：千円)

令和6年度予算額	46,520
令和5年度予算額	0

(単位：千円)

	区 分	金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	34,800
	その他	0
	市町普通負担金	11,720
	計	46,520

その他財源の内訳	
市町特別負担金	0
	0
	0

事業の概要

【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532

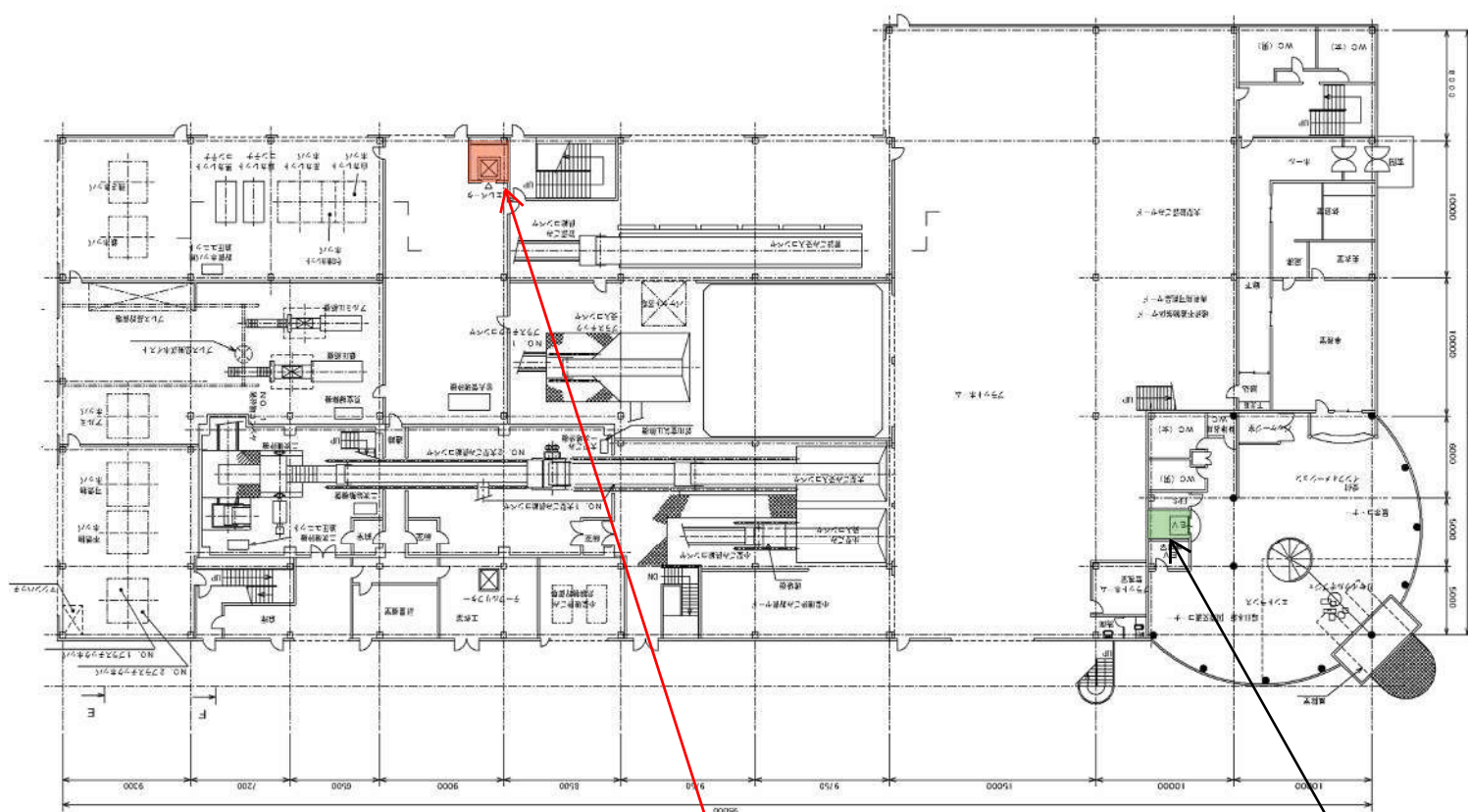
【事業の経過及び背景】
 環境クリーンセンターには昇降機が2基(見学棟[1階－3階]、工場棟[地階－5階])設置されており、平成9年の供用開始から26年が経過している。
 工場棟昇降機は日々の業務に欠かせない設備であるが、劣化が以前より激しく、油圧シリンダからオイル漏れが確認され、その都度対応を行っている。
 補修部品の調達も困難となっていることから、供用開始後初めて全面更新を行う。

【事業の目的及び効果】
 工場棟3階の小型破碎ごみや5階の資源ごみで行っている手選別の際に発生する不適物をヤードに下ろすため使用している工場棟昇降機の更新を行う。

【事業の内容】
 昇降機仕様(三菱電機ビルソリューション(株)製)
 ・用途 人荷用
 ・積載荷重 600kg
 ・最大定員 9名
 ・停止箇所 B、1～5F 6箇所

環境クリーンセンター工場棟昇降機更新事業

(環境クリーンセンター1階平面図)



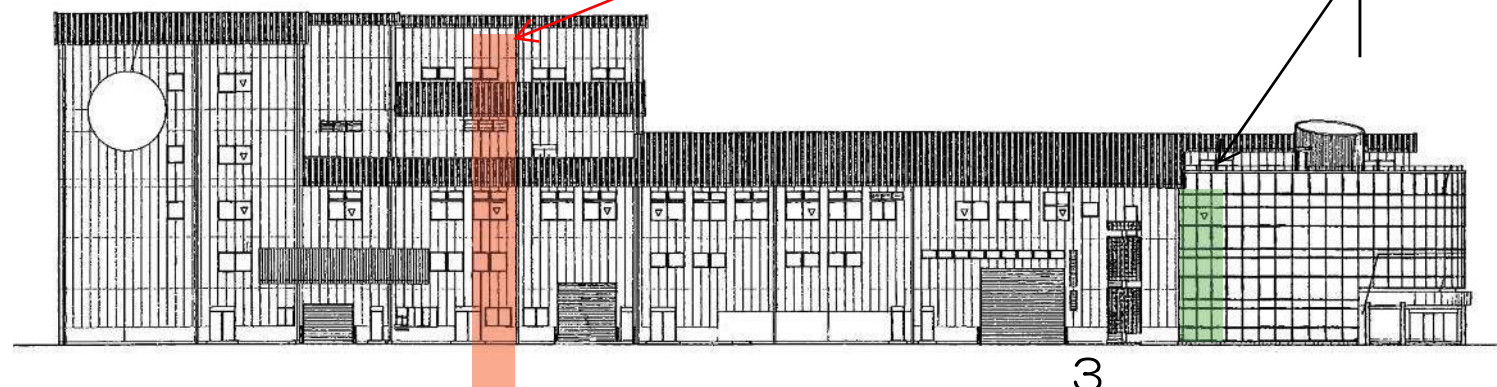
資源ごみ不適物搬出状況↓



工場棟昇降機オイル漏れ状況↓



(環境クリーンセンター東側立面図)



3	項 目 名	リンピアいなば運営管理業務
---	-------	---------------

年 度	令和6年度
-----	-------

担当課
環境衛生課

会計名	一般会計
款	衛生費
項	可燃物処理費
目	ごみ処理施設管理費

(単位：千円)

令和6年度予算額	724,331
令和5年度予算額	683,644

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	0
その他	427,128
市町普通負担金	297,203
計	724,331

その他財源の内訳	
売電収入	171,000
可燃物処理手数料	256,000
磁生物売払収入	128

事業の概要
【問合せ先】施設管理室 0857-26-0596 【事業の経過及び背景】 可燃物処理施設「リンピアいなば」は、DBO（設計・施工・20年間の運営管理一括発注）方式により発注し、平成30年6月19日にJFEエンジニアリングと運営管理業務委託契約を締結している。 契約に基づき、委託料は、物価上昇率等の変動や、JFEの提案余剰電力量の達成、未達成により増減を行うこととなっている。 【事業の目的及び効果】 可燃ごみの適正処理、施設の安定稼働や環境保全、ごみエネルギーの有効活用を図る。 【事業の内容】 令和6年度 リンピアいなば運営管理業務 724,331千円 固定費…人件費、電気・水道基本料金 等 変動費…薬品費、燃料費、電気・水道従量料金 等 固定費 566,927千円 × 消費税等1.1 = 623,620千円 （対前年度：24,277千円増（4.4%増）） 変動費 1,563 円/t × 計画ごみ処理量58,577t/年 × 消費税等1.1 = 100,711千円 （対前年度：217円増（16.1%増）） ※物価上昇により固定費、変動費ともに増額 【事業の実績】 令和5年度 リンピアいなば運営管理業務 683,644千円 固定費 542,650千円 × 消費税等1.1 = 596,915千円 変動費 1,346円/t × 計画ごみ処理量58,577t/年 × 消費税等1.1 = 86,729千円

4		項 目 名		可燃物処理施設南法面整備事業	
年 度		令和6年度		担当課	
				環境衛生課	
会計名		事業の概要			
一般会計					
款	衛生費				
項	可燃物処理費				
目	ごみ処理施設管理費				
		(単位：千円)			
令和6年度予算額		55,112			
令和5年度予算額		13,343			
		(単位：千円)			
区 分		金 額			
財源内訳	国庫支出金	0			
	県支出金	0			
	地方債	35,600			
	その他	0			
	市町普通負担金	19,512			
計		55,112			
その他財源の内訳					

【問合せ先】施設管理室 0857-26-0596	
【事業の経過及び背景】 可燃物処理施設南法面は、令和2年4月に亀裂が生じ、地すべりが進行したため、令和3年度に仮補修を行い、小康状態となった。恒久対策のため、令和4年度に地すべり調査及び対策工法選定、令和5年度には、令和4年度に選定した横ボーリング工の実施設計を行った。	
【事業の目的及び効果】 令和5年度の実施設計に基づき、地すべり抑制を目的に横ボーリング工を施工する。	
【事業の内容】	
令和6年度	横ボーリング工 47,504千円 動態観測調査 7,608千円
【事業の実績】	
令和3年度	仮補修（法面下部への押さえ盛土） 7,975千円 現地測量、ボーリング調査計画作成 2,496千円
令和4年度	ボーリング調査、地すべり解析、対策工法選定 19,998千円
令和5年度	動態観測調査、横ボーリング工実施設計 13,343千円

可燃物処理施設南法面整備事業

目 的	横ボーリング工と動態観測調査を施工し、可燃物処理施設南法面の地すべりを抑制する。				
経 過	令和 2 年	4 月	南法面に亀裂が入る		
	令和 3 年	6 月	仮補修業務（法面下部への土のうを設置及び法面と土のう間の押さえ盛土）		
		1 2 月	仮補修業務増工（追加押さえ盛土）		
	令和 4 年	3 月	現地測量、ボーリング調査計画作成		
		5 月	ボーリング調査、地すべり解析、対策工法選定		
	令和 5 年	4 月	動態観測調査、横ボーリング工実施設計		
令和 2 年 4 月 令和 3 年 4 月 令和 3 年 10 月 令和 4 年 1 月 令和 4 年 12 月					
令和5年度 業務内容	(1) 動態観測調査				
	(2) 横ボーリング工実施設計				
令和6年度 業務内容					R6当初予算額
	(1) 横ボーリング工				47,504千円
	(2) 動態観測調査				7,608千円

5	項 目 名	消防庁舎新築・改修事業
---	-------	-------------

年 度	令和6年度
-----	-------

担当課
消防総務課

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

令和6年度予算額	258,654
令和5年度予算額	256,319

(単位：千円)

区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債(緊防債)	223,000
その他	34,113
市町普通負担金	1,541
計	258,654

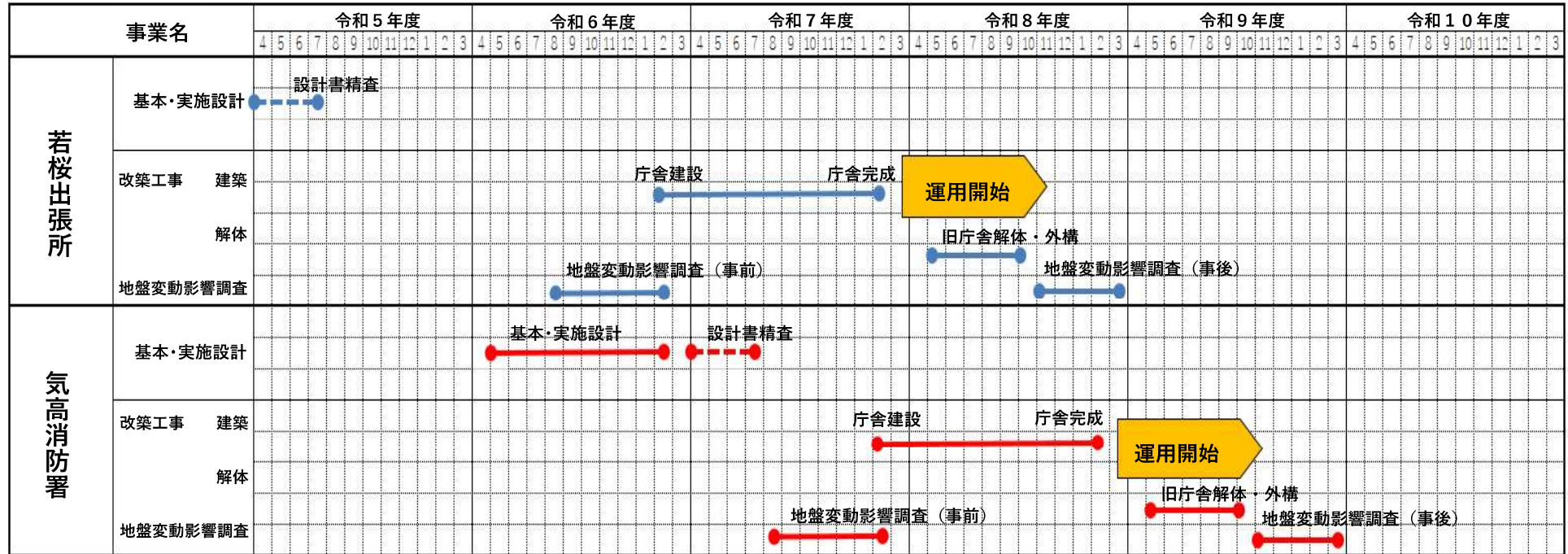
その他財源の内訳	
市町特別負担金	34,113
	0
	0

事業の概要
【問合せ先】 管理係 0857-23-2434 【事業の経過及び背景】 昭和56年以前の旧耐震基準で建築されている消防庁舎は、耐震性を表すIs値が基準以下であり、耐用年数に到達し老朽化が進行していること等の問題が生じていることから、新築事業を進めており、令和5年度時点で事業対象9施設のうち、5施設の事業を完了している。 また、事業対象にない庁舎についても、建物・設備の老朽化が進んでいることから、計画的に修繕を実施している。 【事業の目的及び効果】 消防庁舎の老朽化及び耐震不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき消防庁舎の新築整備を行い、既設施設については維持管理をより効率的・効果的に進めるため、必要な改修を行い、庁舎設備の予防保全に努めることで、継続的に管内地域の安全・安心の確保を図る。 【事業の内容】 令和6年度 ・八頭消防署若桜出張所 新築工事・工事監理・地盤変動調査 【債務負担行為(令和6年度、令和7年度)】(1年目) [当初] 173,491千円 ・気高消防署 基本・実施設計、地質調査 [当初] 75,188千円 ・鳥取消防署 電気設備改修工事実施設計(非常用発電機等) [当初] 8,435千円 ・消防局・鳥取消防署 外壁ドローン調査 [当初] 1,540千円 令和7年度 ・八頭消防署若桜出張所 新築工事・工事監理 【債務負担行為(令和6年度、令和7年度)】(2年目) [当初] 250,158千円 【事業の実績】 八頭消防署用瀬出張所 令和4年度 新築工事(2年目) [決 算] 231,563千円 令和5年度 解体工事、地盤変動影響調査 [決算見込] 35,656千円 八頭消防署若桜出張所 令和4年度 基本・実施設計 [決 算] 29,480千円 令和5年度 新築工事実施なし 消防局・鳥取消防署 令和5年度 屋上防水改修工事 [決算見込] 36,109千円 気高消防署青谷出張所 令和5年度 外部改修工事(屋根及び外壁) [決 算] 13,495千円

庁舎建設工程表（予定）

参 考

R5.11現在



6	項 目 名	はしご付消防ポンプ自動車・水槽付消防ポンプ自動車・高規格救急自動車整備事業
---	-------	---------------------------------------

年 度	令和6年度
-----	-------

担当課
消防総務課

会計名	一般会計
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

事業の概要
【問合せ先】 管理係 0857-23-2434 【事業の経過及び背景】 長期間使用により老朽化した車両資機材を年次計画に基づき更新する。 【事業の目的及び効果】 多様化する災害に対応するため、車両資機材の更新配備を行い、継続的に管内地域の安全・安心の確保を図る。 【事業の内容】 令和6年度 災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（1台）〔湖山消防署〕 【債務負担行為（令和5年度、令和6年度）】（2年目）〔当初〕161,151千円 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（2台）〔岩美消防署・八頭消防署〕 【債務負担行為（令和6年度、令和7年度）】（1年目）〔当初〕0千円 災害対応特殊高規格救急自動車（1台）〔若桜出張所〕〔当初〕38,928千円 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（1台）〔湖山消防署〕〔繰越明許費〕74,841千円 令和7年度 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（2台）〔岩美消防署・八頭消防署〕 【債務負担行為（令和6年度、令和7年度）】（2年目）〔当初〕158,532千円 【事業の実績】 令和4年度 災害対応特殊消防ポンプ自動車（1台）〔吉方出張所〕〔決算〕42,790千円 高規格救急自動車（2台）〔鳥取消防署、気高消防署〕〔決算〕66,880千円 令和5年度 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車（1台）〔湖山消防署〕〔次年度繰越〕0千円 災害対応特殊高規格救急自動車（1台）〔湖山消防署〕〔決算〕34,815千円 災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（1台）〔湖山消防署〕 【債務負担行為（令和5年度、令和6年度）】（1年目）〔当初〕0千円

(単位：千円)	
令和6年度予算額	200,079
令和5年度予算額	111,390

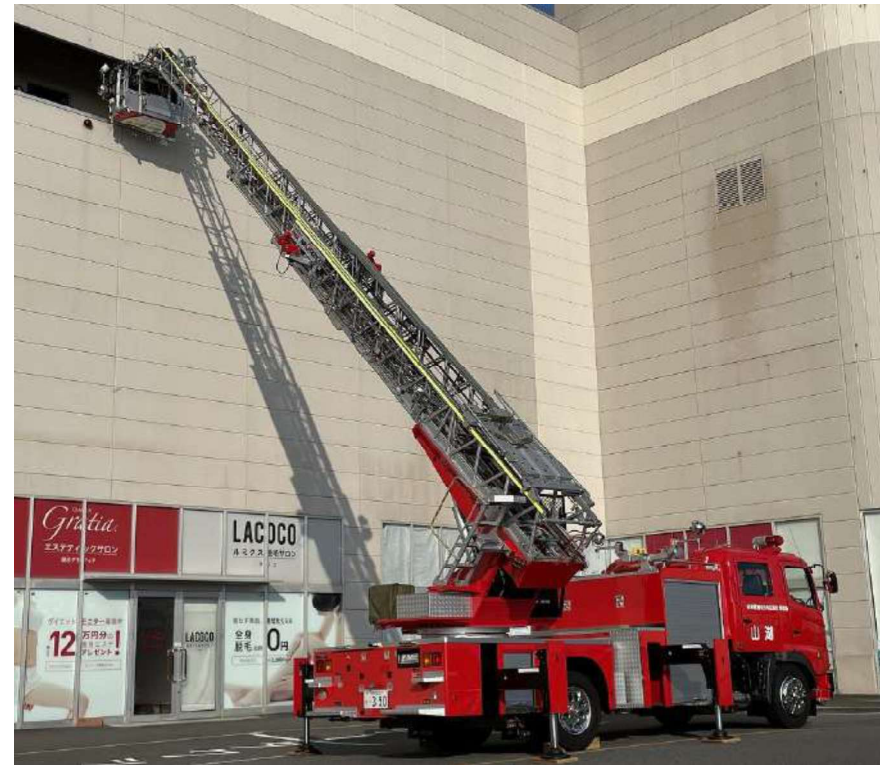
(単位：千円)	
区 分	金 額
財源内訳	
国庫支出金	0
県支出金	0
地方債	200,000
その他	0
市町普通負担金	79
計	200,079

その他財源の内訳
0
0
0

災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（湖山消防署配備予定）

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】平成19年度配備車両（湖山消防署配備）



【令和5年11月時点の進捗状況】はしご架台設置前

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(A-I) (岩美消防署・八頭消防署配備予定)

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】令和3年度配備車両(鳥取消防署配備)

高規格救急自動車(若桜出張所配備予定)

《参考》

参考ベース車両



【参考車両】令和5年度配備車両(湖山消防署配備)

7		項 目 名		高機能消防指令センター整備事業	
年 度		令和6年度		担当課	
				情報指令課	
会計名					
一般会計					
款	消防費				
項	消防費				
目	消防施設費				
(単位：千円)					
令和6年度予算額	518,150				
令和5年度予算額	14,421				
(単位：千円)					
区 分	金 額				
財源内訳	国庫支出金	0			
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	518,150			
	市町普通負担金	0			
計	518,150				
その他財源の内訳					
市町特別負担金	518,150				
	0				
	0				

事業の概要	
【問合せ先】システム管理係 0857-29-6895	
【事業の経過及び背景】 現在の消防緊急通信指令システムは、平成26年に運用開始し、この機能のほぼ全てがコンピューターにより構成され作動しており、システムの耐用年数はコンピューター関係の補修部品の供給を受けることが可能な年限に制約され、最長12年程度が保守の限界と考えられる。当消防局が運用している消防指令システムは、運用開始から9年経過しており当事業完了予定の令和7年度末には12年が経過することとなり、老朽化による更新時期を迎えようとしている。 また、NTT固定電話回線の規格変更(回線のIP化)への対応を令和9年1月までに、緊急車両と指令センターをつなぐ無線回線（Foma3G）の停波への対応を令和7年度末までに行うことが必須であり、計画的に更新するもの。	
【事業の目的及び効果】 消防指令システムのサービス提供を安定的に行いながら、高機能消防指令センターの更新整備を計画的に実施する。	
【事業の内容】 高機能消防指令センター更新・支援業務・移行業務の契約及び事業実施 令和6年度 高機能消防指令センター更新（1年目）〈債務負担行為〉[当初] 518,150千円 上記事業 支援業務（1年目）〈債務負担行為〉 0円 上記事業 移行業務（1年目）〈債務負担行為〉 0円 令和7年度 高機能消防指令センター更新（2年目）〈債務負担行為〉[当初] 777,224千円 上記事業 支援業務（2年目）〈債務負担行為〉[当初] 11,044千円 上記事業 移行業務（2年目）〈債務負担行為〉[当初] 93,432千円	
【事業の実績】 令和5年度 実施設計 [決算見込] 14,421千円	